

令和元年度 日本航空協会表彰と

「空の日」・「空の旬間」事業

— 二木氏「航空亀齡賞」、川井氏、石井氏「航空功績賞」を受賞 —

「空の日」・「空の旬間」には、毎年各種行事が展開されているが、このひとつに（一財）日本航空協会会長から、わが国の航空の発展に尽力した航空功労者に対する表彰が行われる。

当工業会は、日本航空協会による「航空関係者表彰」の推薦団体となっている。会員企業から表彰候補者を募集し日本航空協会に推薦したところ、「航空亀齡賞」1名、「航空功績賞」2名の受賞通知を受けた。ここに、この素晴らしい栄誉をたたえるとともに、ご功績の一端をご紹介します。

1. 日本航空協会 航空関係者表彰

(1) 航空亀齡賞

「航空亀齡賞」は永年にわたり航空の発展に尽力され、且つ、数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞である。

① ふたつぎ せつお 二木 節夫 氏

二木氏は、昭和29年に川崎重工業(株)に入社。戦後の我が国航空機工業が再開した直後から、航空機、宇宙機器及びジェットエンジン事業に従事し、回転翼機設計の責任者、岐阜工場副工場長、常務取締役 航空宇宙事業本

部長、カワサキヘリコプタシステム(株)代表取締役社長などを歴任するとともに、（一財）日本航空機エンジン協会（JAEC）理事、（一財）日本航空機開発協会（JADC）理事、民間航空機(株)（CAC）副社長を務め、KV107ヘリコプター等回転翼機プロジェクト、ボーイング767、777、IAE/V2500エンジン等の国際共同開発プロジェクトの中心的役割を果たすと共に責任者として幾多の困難を克服し、我が国の航空宇宙工業の発展に貢献した。

なお、二木氏は、平成24年度に航空功績賞を受賞している。

(2) 航空功績賞

「航空功績賞」は、航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈られる賞である。

① かわい てるあき 川井 昭陽 氏

川井氏は、昭和48年、三菱重工業(株)に入社後、代表取締役 常務執行役員 航空宇宙事業本部長、三菱航空機(株)取締役社長を務めるなど、一貫して航空宇宙関係の業務に従事した。

この間、民間航空機事業において、MRJ開発や、ボーイング787プログラムなどに携わった。MRJ事業では、試作機開発の責任者として陣頭指揮をとり、飛行試験初号機の完成に尽力し2014年10月のロールアウトに導いた。

民間航空エンジン事業においては、MRJ用エンジンとして世界で初めてGeared Turbo Fan方式のPW1200Gを選定するとともに、当該シリーズのエンジン部品生産に加え、特にMRJ用エンジンに関しては組立試験を社内で

実施することが決定しており、エンジン側においてもMRJ開発に大きく貢献。

宇宙事業、および防衛事業にも尽力し、更にJADC理事、JAEC理事などの産業界における活動を通して、我が国の航空宇宙産業の発展に貢献した。

② いしい きよし 石井 潔 氏

石井氏は、昭和52年に石川島播磨重工業(株)(現(株)IHI)に入社後、(株)IHIエアロスペース代表取締役社長、同 代表取締役会長 兼 明星電気(株)代表取締役社長を歴任し、現在は(株)IHI顧問の職にある。

石井氏は、IHIにおいて航空自衛隊T-4練習機用のF-3エンジン、海上自衛隊P-1固定翼哨戒機用のF-7エンジンの開発に従事し、純国産ジェットエンジンの実用化、量産化に大きく貢献した。

IHIエアロスペースにおいては、固体ロケット事業ならびに液体推進系事業、宇宙利用事業を発展させることにより日本独自技術によ



川井 昭陽 氏
元 三菱重工業(株)代表取締役 常務執行役員
航空宇宙事業本部長
三菱航空機(株)取締役社長



石井 潔 氏
元 (株)IHIエアロスペース 代表取締役会長
兼 明星電気(株)代表取締役社長

る宇宙開発に貢献した。さらに固体ロケット分野においてM-Vロケットを継承するイプシロンロケットの開発事業の立ち上げを主導し、打上げ事業を含めた技術発展と事業化に貢献した。

産業界における活動として、経団連宇宙開発利用推進委員会常任委員をはじめ、各種団体の役員、委員等を歴任し、航空宇宙業界の発展に尽力した。

2. 令和元年度「空の日」・「空の旬間」事業概要

(1) 空の日記念式典

第67回「空の日」航空関係功労者国土交通大臣表彰式

9月20日（金）於：国土交通省 共用大会議室（予定）

(2) 広報活動

ポスター、ホームページ、グッズ製作、「くまにまる」着ぐるみの活用などにより、空の日のPRを行う。

(3) 中学生派遣事業

成田地区6名の中学生を対象として、7月22日～27日に米国シアトル ボーイング・エバレット工場等の航空関連施設見学、フェニックスJAL運航乗員訓練所見学、現地高校生との交流会等を実施。

(4) 絵画コンテストの支援

「FAIヤング・アーティスト・コンテスト（主催：FAI（国際航空連盟）」の国内予選である「青少年航空宇宙絵画国際コンテスト」の費用の一部を支援する。

(5) 地方イベントへの支援

全国の空港等で開催される空の日イベントに対して事業費の一部を支援する。

(6) 啓蒙事業の支援

① 航空分野に関心を持つ若者が増加するよう協賛団体が行う青少年等を対象とした航空教室等の事業費の一部を支援する。

② 航空スポーツ分野の安全に関する講演会、講習会等の取り組みに対して事業費支援を行う。

(7) その他

① 関東近郊の中学生10名を対象とし、ANA訓練センター、JALメンテナンスセンター等の羽田空港周辺航空関連施設見学を実施する。

② 空の日ネットと相互リンクしている「skyworks」(*)（航空機操縦士養成連絡協議会および航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会が航空に関する仕事の魅力を伝えるために開設した共通ウェブサイト）を通して若年層へ航空職種を紹介する。

(*) 当工業会は日本航空機操縦士協会、日本航空機技術協会と連携をとり、将来の航空関係人材確保・育成に向けて、若年層への航空職種の紹介に努めております。「skyworks」は当工業会ホームページともリンクしておりアクセスが可能です。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕